

第3回 Astra!実行委員会 ディスカッション記録用紙

ルーム1

記録者： 眞島

参加者名

武田教育長、中村委員(県商工会連合会)、牛越委員(県中学校長会)、稲玉課長(国際交流課)、一色課長、赤星主事(産業人材育成課)

ディスカッション1

【テーマ:Astra!メンバー(児童生徒の参加者)の選抜基準・選抜方法について】

- ・基本的には流れはよい。子ども相手なので、日ごろから慣れていないため、目合わせは必要か。事前に教えていただければ有り難い。事前に打ち合わせは？
- ・小4から中3まで、幅広い。平準化しにくいところが見られる。就職試験では、自分の好きな写真を持ってきて、説明してもらうようなものもある。個性が発揮されるような形がよいのではないか。
- ・ほかの県のプロジェクトとかも学生の際に参加した。
- ・個性が現れるような選抜があるとよい。
- ・アストラの目的は、「これからの地域を背負っていくような人材を発掘する」、教員以外の感覚を大事にしたい。教員が選抜すると、「いい子」ばかりを選んでくる可能性がある。一筋縄ではいかない子どもたち、何かとがっている子たちを選抜したい。こんな観点をと言うのがあれば、お聞きしたい。
- ・あまりそこを気にする必要はないのか。自分の判断で。大人の面接では、志望理由を書かせたうえで、性格をみるようなシステムもある。人づきあいがよい、ついていける、慌てると何ができなくなるということを組み合わせるが、そこは必要がないのでは。人と話ができる、アイデアが出るなど企画力を見ていけるとよいのでは。
- ・コミュニケーション、子どものときはダメだけど、大人になるとできるようになる、なぜ？
- ・人の中でもまれる、経験、教えて学べるものではないと思う、実地訓練、回数を重ねてきたという結果ではないか。
- ・話しにくい子が頑張って応募してきたということも大切にしたい。

【主な意見・アイデア】

- ・個性が発揮されるような形がよい
- ・個性が現れるような選抜
- ・人と話ができる、アイデアが出るなど企画力を見る

【印象的だった意見・キーワード】

- ・教員が選抜すると、「いい子」ばかりを選んでくる可能性がある。一筋縄ではいかない子どもたち、何かとがっている子たちを選抜したい。